

白川ダム 記録的な渇水を節水努力で乗り切る見込み ～9月8日（かんがい期）まで節水を継続～

- 本日、白川ダム利水調整会議（第2回）を開催しました。
- 会議では、ダム貯水状況や節水の取り組みについて報告され、今後の水利用について再度協議した結果、9月1日以降も節水努力を継続することを確認しました。
- 20%の節水努力により、かんがい用水需要期（9月8日まで）を乗り切れる見込みとなりました。

【現状と今後の見通し】

- ・ 白川ダムの8月29日9時現在の貯水位標高314.19m（最低水位標高312m）、貯水率16.7%です。（参考：平成6年8月渇水時の貯水位標高315.04m）
- ・ 現在、著しい取水障害は発生しておりません。
- ・ 9月1日以降のかんがい用水取水量を約20%節水（約3.8m³/s → 約3.0m³/s）することにより、かんがい期（9月8日）までは白川ダムからのかんがい用水の供給は可能となる見込みです。
- ・ 引き続き、利水関係者との情報共有した内容をもとに、必要な水の確保に努めます。

【発表記者会：山形県政記者クラブ】

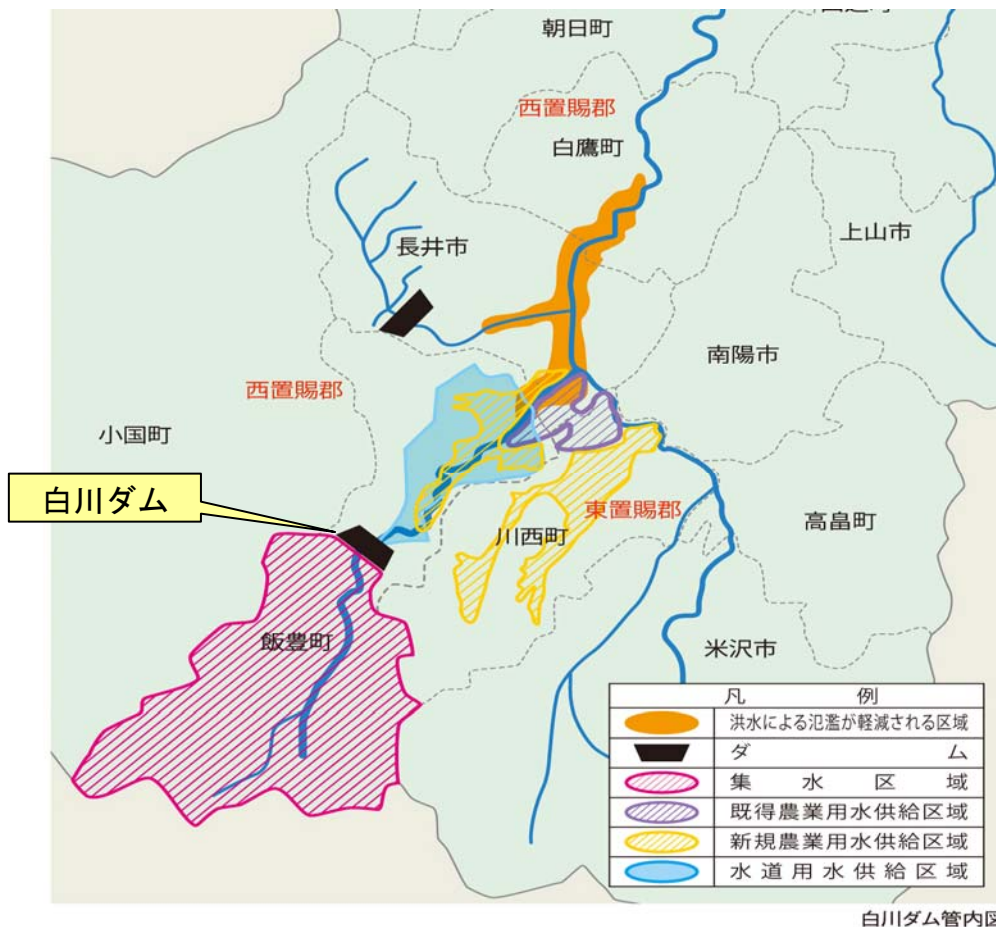
問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関158
副所長（技術担当） 荒木 勝彦（内線204）
管理課長 三原 金吾（内線331）
電話 0237-75-2311（代表）

～白川ダム渇水対策に向けた取り組み～

- ・ 第1段（8月17日）
「水利用に極力支障を生じないように農業用水の節水開始」
- ・ 第2段（8月22日）
最上川水系渇水情報連絡協議会（幹事会）開催
「さらなる節水の要請」
- ・ 第3段（8月24日）
白川ダム利水調整会議開催
「かんがい供給区域の利用者による15%の節水決定」
- ・ 第4段（8月30日）
白川ダム利水調整会議開催
「ダム水位引き続き低下 かんがい期まで水利権量の20%の節水を決定」

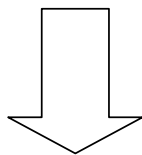
～白川ダム かんがい用水・水道水供給区域～



- ・ かんがい供給区域（飯豊町、西川町、長井市）農地約4,800ha、農家約2,600戸
- ・ 水道供給区域（飯豊町）人口約7300人

白川ダム貯水池状況写真

(平成24年7月19日)



(平成24年8月27日)



下流河川の状況写真

置賜白川 手ノ子観測所付近

(平成24年8月27日)



置賜白川 樁観測所付近

(平成24年8月27日)



【置賜白川の状況】

(過去5ヶ年(H19~H23)平均濁水流量及び現在の状況)

・下屋地観測所	5ヶ年平均	2.07m ³ /s	→	8/29 9時現在	0.63m³/s
・広河原観測所	〃	1.2m ³ /s	→	〃	0.79m³/s
・手ノ子観測所	〃	2.36m ³ /s	→	〃	1.96m³/s
・椿観測所	〃	4.43m ³ /s	→	〃	1.84m³/s

※観測所の位置については、別紙1を参考にして下さい。

【白川ダムの状況】

1. 白川ダムの降雨状況・体制

白川ダム流域平均雨量(mm)

	過去5ヶ年平均	平成24年	過去5ヶ年平均比
7月	225	175	77.7%
8月	225	65	28.8%

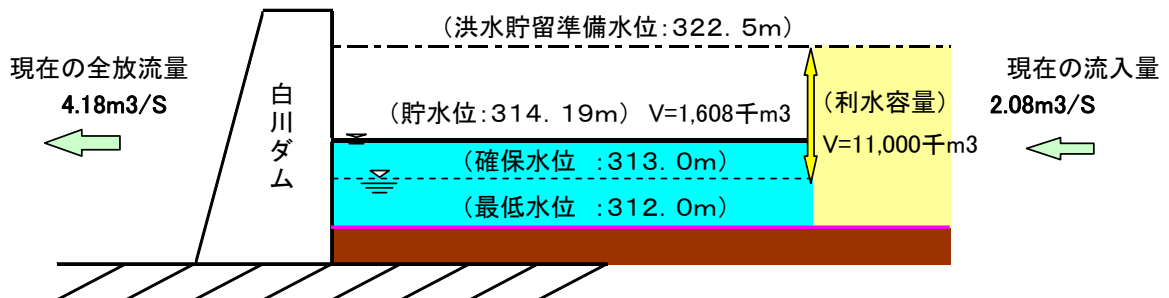
※平成24年8月は、8月29日現在

2. 白川ダム貯水状況

貯水状況及び、流況は以下のとおりです。

白川ダム (平成24年8月29日9時現在)

貯水水位	: 標高 314.19m
確保水位	: 標高 313.0m
最低水位	: 標高 312.0m



○貯水位 標高 314.19m

- ・確保水位(利水目的に支障を与えないために確保する高さ 標高 313.0m)より **+1.19m**
- ・最低水位(ダムの貯水を利用する利水運用で想定している最も低い高さ 標高 312.0m)より **+2.19m**

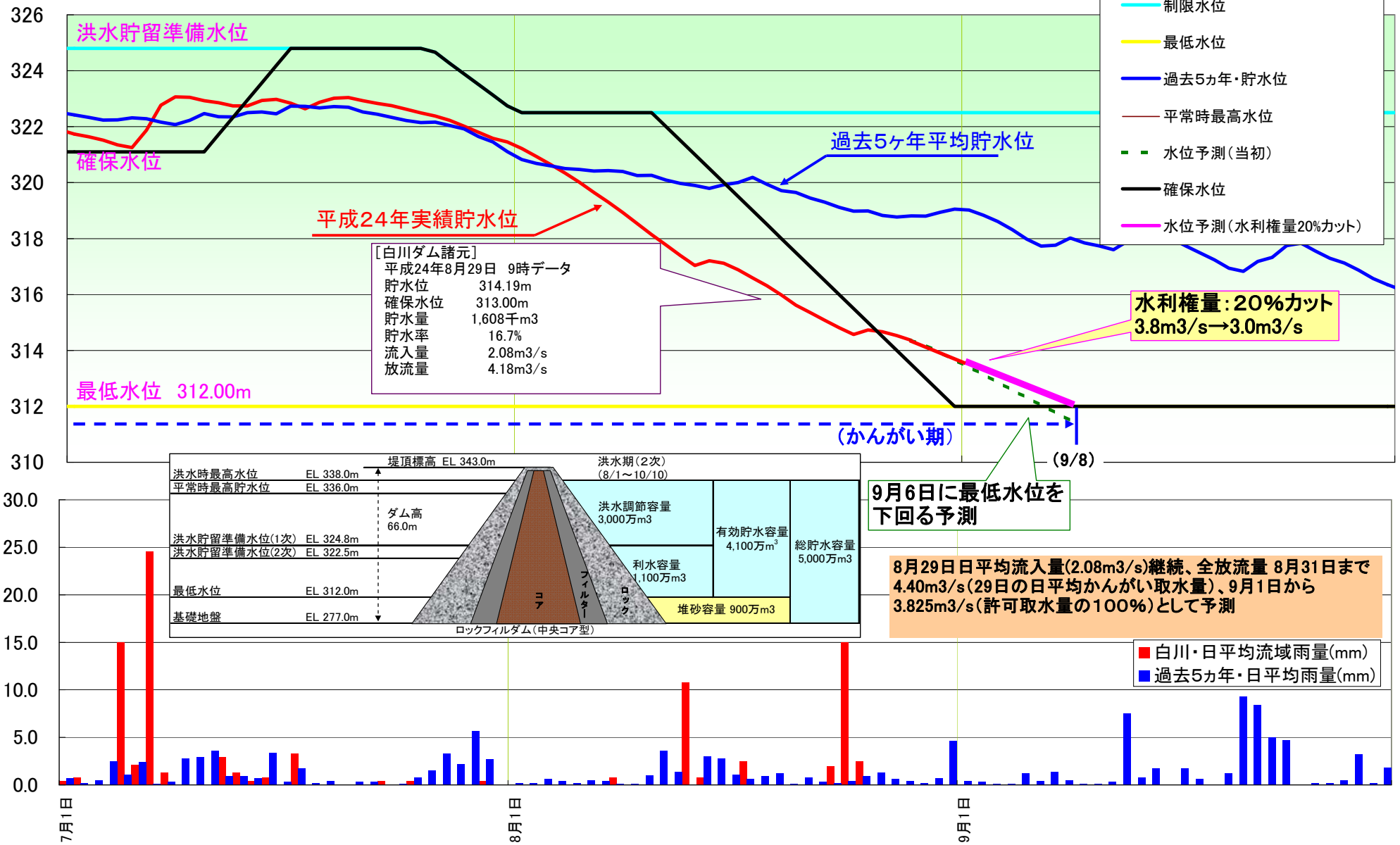
○貯水量 V=1,608千m³

- ・洪水期利水容量(洪水を考慮した、使用可能な容量V=11,000千m³)の**16.7%相当**

○流況

- ・流入量 Q=2.08m³/s (日平均 : Q=1.96m³/s)
- ・全放流量 Q=4.18m³/s (日平均 : Q=4.15m³/s)

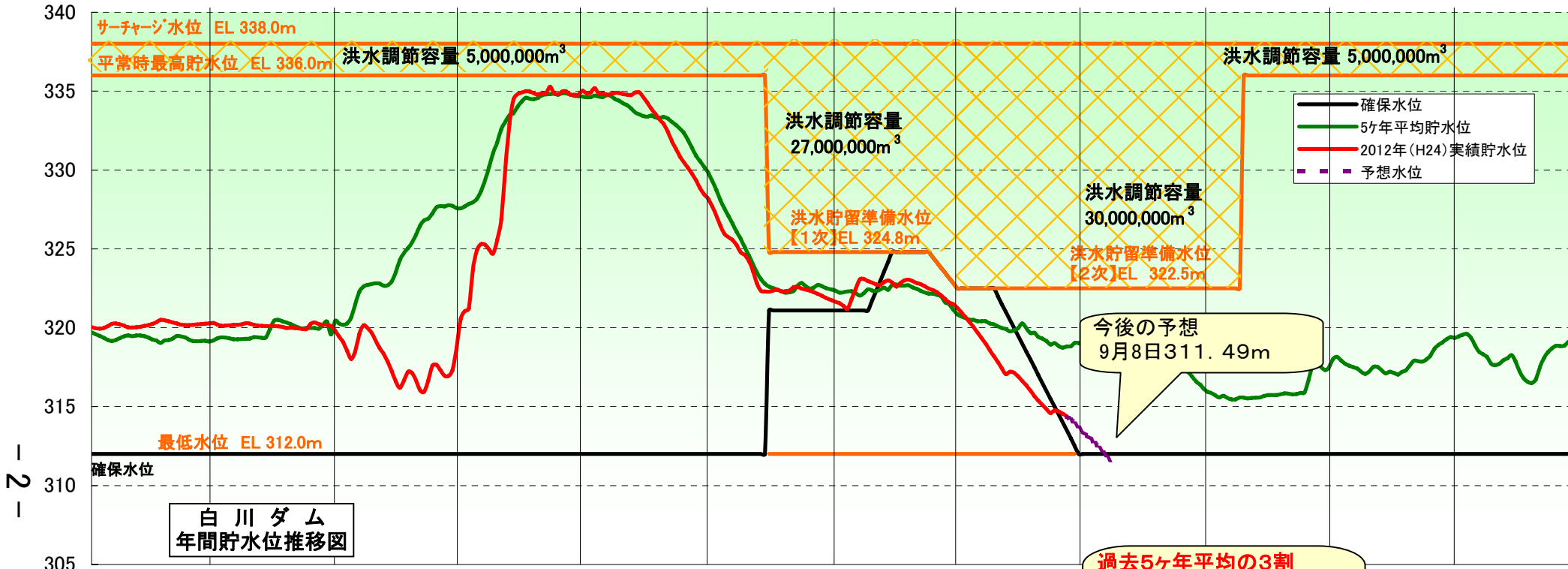
白川ダム 貯水位・日平均流域雨量



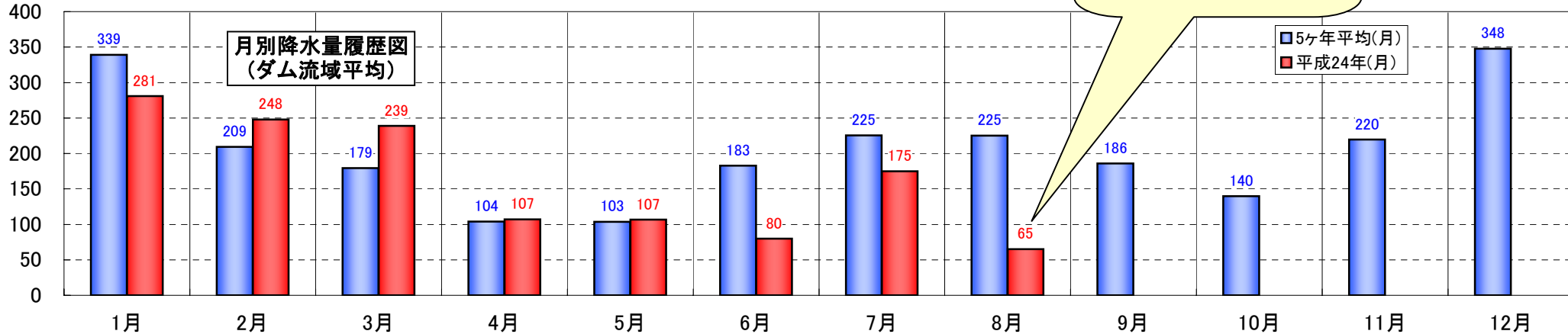
白川ダム年間貯水位曲線

有効貯水容量 41,000,000m³

(EL m)



(mm)



流量観測所位置図

